

## 2023 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【英語】

### 【1】 長文読解問題1（ストーリー）

これまでで最も多くエベレスト山に登った山岳ガイドのカミ・リタについての文章です。カミ・リタが世界記録を達成するまでの道程と、彼の今後の展望について書かれています。話の展開が明解で、比較的読みやすい英文と言えます。

設問は、英文で語られている事実を正確に把握する力や、得られた情報を基に論理的に推論する力を測ることを意図しています。出来事が起きた時（年、年齢）、場所、回数といった情報は後々設問で聞かれることが多いので、文章を読みながらそれらの情報が出てきたら印をつけるなどして、解答する際の該当箇所の発見を容易にする工夫をするとよいでしょう。

総じて基本的なレベルの問題ですので、問4や問6の記述解答の精度で差がつきます。訳抜けや修飾関係などに注意して丁寧に解答できているかどうかを見直すことが重要です。

### 【2】 長文読解問題2（説明文）

感覚記憶や短期記憶、長期記憶といった記憶の仕組みと、それを踏まえた記憶の秘訣についての文章です。記憶についてのギネス記録保持者の紹介から、そのような記憶の達人がどのような方法で物事を記憶しているかが説明されています。ここでは二つの秘訣が紹介されています。頭字語を使う方法と、同義語を使う方法です。どちらも分かりやすい具体例が併記されていますので、それを基に内容を推測するとよいでしょう。

設問は、英文中の未知の語（acronym, synonym など）を文脈を用いて内容を推測し、それを実際に適用する力が問われています。実際の入試でも未知の単語は必ず出てきます。そのような場合に文脈（特に具体例）から内容を推測する力は必須となります。日頃から分からない単語が出てきてもすぐに調べるのではなく、まずは文脈から意味を推測してみるということを実践するとよい訓練になります。問5のような指示語の内容を明示する設問は慣れていないと書きにくく感じるかもしれません。該当箇所が本文中にありますので、どこが該当箇所かが明確に分かるような書き方をすることが大切です。

### 【3】 手紙文読解問題（電子メール）

近年、入試でよく出題されている電子メールのやり取りを題材にした読解問題です。スーザンが旅行を計画しており、そのアドバイスをケンジに求めます。ケンジはスーザンが立てた計画をさらに良いものにするための提案をします。このタイプの問題では、本問のようにある意見に対してそれを修正する意見を述べる、という形式が取られることが多いです。スーザンの計画のどの部分に対してケンジがどのような修正案を提示しているかを整理しながら読むことが必要です。

文章量は多く見えますが、内容は平易ですので、事実を速く正確に読み取って解答につなげる力が問われています。慌てて飛ばし読みをすると、事実を見落として解答ができず、再び該当箇所を探すためにタイムロスが生じることとなります。日頃から英文に触れる機会を増やして、長い文章を読むことに慣れるようにしておくといいでしょう。

### 【4】 適語（句）選択問題（英文完成）

ややレベルの高い問題が多く含まれています。1は go on -ing（～し続ける）という有名な表現があるため、それを選びがちですが、英文の内容を考慮すると当てはまりません。go on to do（続いて～する）というよく似た表現もセットで覚えるようにしましょう。2、3、5といった問いは英文全体から意味を推測することが求められています。文法問題であっても直前や直後の表現だけで判断することがないように注意しましょう。4は同意表現の文法上の違いに注目する必要があります。動詞の原形、to不定詞、動名詞のいずれが後接するか整理して覚えることが大切です。

### 【5】 連立完成問題（同意文完成）

いずれも基本的な文法知識を問う問題です。1は助動詞 used to と過去形の違いについて、2は現在完了を用いた時間の経過を表す慣用表現、3は比較級を用いた「ますます」という表現の言い換えの知識、4は使役動詞 have を使った被害を表す表現に関する知識が問われています。

### 【6】 語句整序問題

いずれもややレベルの高い重要表現が含まれています。1は二つ目の as の位置、2は in の位置が間違いやすいポイントです。難関校ではただ重要フレーズを覚えているだけでは対応できない設問が出題されます。なぜそこにその単語を置く必要があるかといった理由を理解するように心がけましょう。

## 2023 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【数学】

今回は基本的な問題から応用的な問題まで幅広く出題し、様々な考え方や解き方が「応用がきく」形で身に付いているかを問いました。特に図形問題において「条件を図に書き込む」・「求めたいものをいかにして求めるか」などといった試行錯誤が欠かせない問題を出題しています。それ以外にも、一見して見たことのない問題も多く出題したので、ただ解き方を覚えて当てはめるだけではない「数学的思考力」が身につけているかを確認するには適した問題構成になっています。

### 【1】 計算問題

基本的に忠実に計算を進めれば完答できる難易度の計算問題が大半です。一つ一つ正しいやり方を確認していきましょう。また(4)のように複雑な式に直面したときは、工夫して計算することを心がけましょう。

### 【2】 小問集合

各分野から標準的・典型的な考え方で解ける問題を出題しました。ただし、典型的な話題に帰着するには、指定された条件がどのように言い換えられるか、どういった性質に結びついているかを適宜考察する必要があります。このような数学的思考力を着実につけていって欲しいです。

### 【3】 確率

与えられた不等式を満たすようなさいころの目の出方を考察する問題を通じて、条件に当てはまる目の出方を規則正しく書き出したり、どれか1つの文字に注目してから他2つの文字について考察したりといった能力を問う問題を出題しました。場合の数を求めるために具体的に書き出す地道な努力は欠かせません。本問は日頃からそのような取り組みができているかを確認する問題にもなっています。

### 【4】 二次関数

放物線と直線の交点を求める基本問題と、三角形の面積や形状を考える図形との融合問題を出題しました。特に(3)では傾きとは何であるか、傾きの値が角度とどのように結びつくのかを考える問題としました。与えられた条件が何を表しているかを正しく理解するよう心がけて欲しいです。

## 【5】 立体図形

三角柱の切断によって得られる立体について考える問題を出題しました。立体の基本は、平面に帰着することですが、適切な補助線を引くことにより計量可能な三角形に帰着することが重要な問題となっています。何が分かれば求めたいものにたどり着けるかといった筋道を立てて考えると良いでしょう。

## 【6】 平面図形

図形性質の証明問題と、直角三角形をもとに外接円を考えて、角度や長さを求めるやや難しい問題を出題しました。証明問題を通じて、根拠を明白にした説明の仕方が定着しているかを確認して欲しいです。また、図形の基本は試行錯誤です。補助線を引く、三角形を抜粋して考察するなどの思考の仕方を身につけて欲しいです。

## 2023 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【国語】

入試を視野に、読解・記述に加え、漢字の読み書き、語彙、表現技法の知識を文章内に組み込んで問う形式で出題しています。これまでの学習成果を総合的に判定し、必要な学習課題を明確化できるようにすることが目的です。

### 【一】 論説文の読解…………… 河合隼雄『日本人の心のゆくえ』

人と人とのコミュニケーションについて述べた文章からの出題です。筆者の主張を比較的読み取りやすい文章を採択し、文脈の把握力と表現力のレベルを、記述説明の設問への対応力で測ってみようという視点での出題を試みてみました。一見易しそうに見える問五・問八ですが、しっかりと得点をあげることができたでしょうか。例えば問五では、「感じる」と「感じられる」との違いに気付き細かいところの表現にまで注意をはらった読解と説明ができているか、また問八では、求められている比較の基準となる要素を、もれなくそして重複することもなく拾い出してまとめ切れているか等を確認できるようにしました。何となく書けているようでも、これらのポイントをしっかりと押さえ切れていない解答には加点がなされないよう採点基準になっています。各自の答案を振り返り、点数の上下ではなく読解の仕方そのものがどうだったか、その点検に役立てていただければと思います。

### 【二】 小説文の読解…………… 戸川幸夫『高安犬物語』。

動物文学の第一人者として著名な作家の代表作からの出題です。このジャンルにおいて特に重要となる、場面展開の理解と心理描写の把握という二点に焦点を当てた出題を試みました。前者については、問題文の最後まで読んだときに初めて冒頭の一文と場面がつながるという、この素材文の複雑な構成がつかめたかどうか第一のチェックポイントとなります。各設問の答えを考えるにあたっては解説にも示したとおり、随所に出てくる〈重なり合う共通の表現描写〉が各々ヒントにはなりますが、クイズのように機械的にそれらの描写を利用するのではなく、本文の内容そのものをしっかりと読み取れていたか否かを確認してほしいです。また後者の心理描写の把握というポイントについては、客観問題と記述問題の両方の形式を利用して、読解と表現それぞれの深さを測り確認できるよう、出題内容を工夫しました。

【三】 古文の読解…………… 『十訓抄』 卷十ノ二十七。

出典は、入試では頻出の鎌倉時代の説話集である『十訓抄』です。入試問題を意識して、長めの文章を採択しました。文脈を丁寧にたどり、動作の主体や内容を的確に把握する力を身につけてほしいです。また、この機会に、古文単語の意味、基礎的な文法事項、文学史などをいま一度確認するのもよいでしょう。記述問題については、現代文の読解にも通じる、指示内容を問う問題を出題しました。注釈や他の設問を参考にしながら、問われている言葉はどのようなことを指しているか、求められている内容を適切にまとめるよう注意しましょう。また、現代文ではあまり使われない漢字（「筆策」や「海賊」の「賊」など）の転記ミスにはくれぐれも気をつけましょう。

## 2023 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【理科】

物理・化学・生物・地学の4分野からそれぞれ、中3に入ってから学ぶ範囲も含め出題をしました。各分野についての基本的な用語や考え方を正しく身につけていることが必要で、その上で計算問題や図形の読み取りが正確にできるかどうかポイントになります。さらに、教科書にはない設定の問題では、問題文をよく読み、持ち合わせている知識を応用できるかどうかを考え、科学的な考えに基づき答えを導いていけるようにしましょう。

### 【1】 エネルギー（仕事、力学的エネルギーの保存）

物体にはたらく力の大きさ、される仕事、物体の運動の関係、力学的エネルギーについての「知識」と「理解」を試しました。斜面上の物体にはたらく力に関して、重力と分力の関係や力のつり合いは、運動を理解するための基礎ですから、十分に学習することが必要です。また、物体のもつ位置エネルギーと運動エネルギーに関して、摩擦のある場合とない場合について問いました。問題を通して、力と仕事・運動の理解を深めてほしいです。

### 【2】 酸・アルカリとイオン（酸・アルカリ、中和と塩）、科学技術と人間（物質の利用）

酸・アルカリとイオンについては、酸性・アルカリ性になるイオン、中和反応といった基本的なことと、電流を流すとどのようになるかを問いました。物質の利用については、身近なプラスチック製品について、その利用と環境問題との関連を問いました。いずれも、教科書に書かれていることをしっかりと理解しておく必要があり、環境問題との関連では問題をよく読んだうえで科学的な考え方ができるかどうかポイントになります。

### 【3】 生物と環境（生物のつながり、物質の循環）、自然環境と人間（自然環境、科学技術）

[I]は炭素循環について出題しました。よく見かける図とは上下が逆ですが、物質Xに気づけるかが鍵になります。分解速度と温度の関係は化学、地球温暖化は地学や社会ともかかわってきます。環境問題については正確な知識が問われますので、確認しておきましょう。[II]は生物のつり合いについての考察問題です。(5)~(7)は個体数の増減から生物同士の関係性を問う問題で、解説を見て関係性をしっかり把握してほしいです。

【4】 太陽系の天体と宇宙（太陽，月，惑星，宇宙の広がり），自然環境と人間（自然災害）

[I]で題材にしたのは，本年2月27，28両日に見られた金星・火星・月が接近して見られた現象です。早朝5時頃という手がかりからいくつものことが導かれることを，問いを通して理解してもらえばと思いつつ問題を作成しました。自発的に様々な連想ができるようになってくれればなお望ましいところです。

[II]の自然災害関連の設問は気象や地質分野に関連づけて出題されやすいので，問題演習を積みましょう。

## 2023 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【社会】

地理分野では、最近ニュースでもよく耳にするロシア・西アジアの国々や日本の工業の特色について、特に重要な内容を取り上げました。歴史分野では、近現代史と世界史を取り上げました。両方とも出題頻度の高い分野なので、確実に得点できるようにしておいてください。公民分野で学習する経済の範囲について、難関校特有の事柄を交えながら、出題内容のバランスに留意して出題しました。

### 【1】 ロシアとその周辺の国々

(1)のロシアを中心としたユーラシア大陸の気候区分に関しては、区分の名称とその位置をきちんと一致させるようにしましょう。(3)はロシアだけでなく、世界各地の鉱山や鉱産資源の運搬方法などの総合的な知識が試されています。(4)の発電エネルギーの割合は、提示された各国の自然環境や産業の状況なども併せて考察する必要があります。(5)の地図で示された6国は西アジアの国々の中でも特に頻繁に出題され、日本とも比較的關係も深いので、その国名と位置をきちんと押さえるようにしましょう。

### 【2】 日本の工業／資源・エネルギー

(1)の1は戦後の日本の工業の変化を、盛んになった業種の変遷とともに貿易状況の変化と併せて考察するものです。(1)の2は日本の工業の生産体制に関するもので、集積回路(IC)と中小工場に関する知識はいずれも基本的な事項なので、しっかり押さえることが必要です。(3)の工業地域については、各工業地域の特色となっているキーワードを理解するようにしましょう。(5)は工場の分布状況からその業種を判断するものですが、このような形式の地図問題にも慣れておくようにしましょう。

### 【3】 明治時代～現代の歴史

(1)の史料問題では、史料が千島・樺太交換条約のことだと分かれば正解できる問題です。また、(2)の地図問題では、江華島事件のことを覚えていれば正解できます。(3)の論述問題は、清が朝鮮王朝に対して宗主権を主張していたという知識を前提とする問題です。(4)は、二十一カ条の要求を出したのが第二次大隈内閣であったという知識を前提とする問題です。(6)の誤りを探す問題は、丁寧に読めば分かりやすい問題です。(7)では、ルーズベルトという米大統領は2人いるので、ニューディールを進めたフランクリン＝ルーズベルトと混同しないようにしましょう。(9)の史料問題は、やや難問になっています。(10)のウィルソン

の14カ条の主な内容は覚えておきましょう。(11)では、問題文に日中戦争の翌年とあるのが大きなヒントになっています。(13)は第二次世界大戦・太平洋戦争についての出題です。頻出のテーマなので正解できるようにしておきましょう。

#### 【4】 世界史

(2)の四大文明の特徴は把握しておきましょう。(3)(4)は宗教関係の問題です。三大宗教に関わる主要な歴史事項は押さえておきましょう。(6)では、イギリスのロック、フランスのモンテスキュー、ルソーらの思想について、イギリスやフランスの革命と関連付けて整理しておいてください。

#### 【5】 経済

(2)で扱った需要曲線・供給曲線や(4)と(9)の1で扱った日本銀行の金融政策などは、考え方・仕組みについて理解ができていることが大切な事柄でしょう。グラフをシフトさせて考える設問は難関校では頻出のものです。(3)で使用したベトナム戦争、エネルギー革命、消費税などの導入時期や小泉純一郎内閣での郵政民営化、(4)のプラザ合意とその後の円高について、(5)の世界金融危機のきっかけとなったリーマンショックの内容についてなど、盲点になっていなかったでしょうか。(8)の1で扱った国の歳出はグラフが頻出で、最大の費目が社会保障関係費、2番目が国債費、3番目が地方交付税交付金であることは覚えておく必要があります。(8)の2で問われた、直接税か間接税かの判断はすべてできるようにしておきましょう。揮発油税などできたでしょうか。